

トルコ・シリア災害救援基金へのご寄付・DDF寄贈は、  
3月31日までです。

トルコ・シリア災害救援基金への

- オンライン寄付は[こちら](#)
- 銀行振込によるご寄付：寄付送金明細書は[こちら](#)（寄付分類欄に、「その他（トルコ・シリア災害救援基金）」とご記入ください。）
- DDFの寄贈は[こちら](#)

※年次基金への寄付額に算入されます。ただし、シェアの計算や DDF の算出にはカウントされません。

※ニーズが減少した場合、または申請資格のある地区が要請する金額よりも多くの寄付が集まった場合、余剰分は世界のほかの災害の救援活動に充てられることとなります。また、4月1日以降に災害救援基金へお寄せいただいたご寄付は、世界のほかの災害の救援活動に充てられることとなります。

[トルコ・シリア地震被災地でのロータリーの対応](#)  
[トルコ・シリア災害救援基金への寄付が被災地の救援活動を支援](#)

## 【被災しながらも救援に尽力するヒーローたち】

2月6日、午前4時過ぎ。ここ数世紀で最も死者数の多い大地震が、オヌル・カラバイさん一家の住む6階建てアパートを大きく揺るがしました。

「1分半にわたって建物が激しく揺れた」とカラバイさん（ガズィアンテプ・イペキョル・ロータリークラブ会員）は振り返ります。

カラバイさんが住むトルコ南部の都市ガズィアンテプは、震源地の近く。妻とともに大声を出して二人の子どもとところに駆け寄り、靴や上着、電話、カギなど持てる必需品をかき集めて玄関まで行ったときに、最初の余震が来ました。

アパートから出て市外の田舎にある平屋建ての家に避難しました。一部屋に約25人が寝泊まりして寒さをしのぎ、電気はなく、冬の夜の気温は零下にまで下がります。

マグニチュード7.8の地震、そして相次ぐ余震により、トルコとシリアで数万人が命を落とし、複数の都市の大部分ががれきと化しました。

家や持ち物を失いながらも何とか避難した数万人のトルコ・シリア市民と同じく、アフメット・イルケル・スアットさん（ガズィアンテプ・アレベン・ロータリークラブ会長）は行き場を失い、妻・娘と一緒に車内で寝泊まりしています。記事の続きは[こちら](#)

[My ROTARY RILEート](#)  
[寄付送金明細書](#)  
[寄付・認証の手引き](#)

## 寄付総額 世界上位5ヶ国

	2023年3月22日現在
アメリカ	\$ 164,042,981
韓国	\$ 17,983,812
日本	\$ 12,110,414
インド	\$ 11,170,115
台湾	\$ 11,063,269

## 2022-23年度

### 目標(世界)

- ・年次基金：1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金：1億5,000万ドル（ゲイツ財団からの上乗せ含む）
- ・恒久基金：1億ドル（2025年までに20億2,500万ドル）
- ・その他の現金寄付：4,500万ドル（グローバル補助金への現金抛出等）
- ・全体（上記合計）：4億3,000万ドル

### 目標(日本)

- ・年次基金：一人当たり150ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス：一人当たり30ドル
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増（日本全体）
- ・ポリオプラスへ DDF の20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野への DDF 寄贈
- ・世界ポリオデー（WPD）の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェロシップの推進

### 日本の状況

冠名基金数 246  
AKS会員数 58  
PHS会員数 1338

## 2023-24年度 目標

2023-24 年度ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)

第一地域	飯村 慎一	<a href="mailto:iimura@koyonet.com">iimura@koyonet.com</a>
第二地域	伊藤 靖祐	<a href="mailto:yito@seiei.ed.jp">yito@seiei.ed.jp</a>
第三地域	永田 壮一	<a href="mailto:sochan0001@me.com">sochan0001@me.com</a>

3年余り続いた新型コロナウイルスの感染も減少傾向となり、政府のウィズコロナ政策で少しずつ対面式の会合も増えてきました。日本のクラブも通常の例会が増えてきているように感じます。その中で、ロータリー会員の皆様にはロータリー財団への寄付、人道的奉仕活動への参加等、ロータリー活動へのご尽力に感謝申し上げます。

昨年度は佐藤芳郎RI理事のお声かけもあり日本のすべての地区で「世界ポリオデー」のイベントを開催していただきありがとうございました。日本のロータリー会員が一つのイベントで繋がって行動を起こせたことに感動と勇気をいただきました。これからもポリオが世界から根絶されるまで続けてまいりましょう。ご不明な点があれば各地域ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) にご相談ください。

重点分野に加わった「環境」では、日本でも多くのクラブが海洋・河川の環境保全に取り組んでいます。また、ウクライナへの人道支援、パキスタンへの災害支援はもとより、最近起きたトルコ・シリア地震にもロータリーの支援が始まっています。こうした人道的支援を行うためにもロータリー会員の皆様からのロータリー財団への寄付が必要です。地区の人道的奉仕活動の資金源となる年次基金へのご寄付、大口寄付、恒久基金・冠名基金などを知って頂くのはもちろんの事、自動定期寄付など持続的で確実な寄付の方法を周知していただくよう、ロータリー財団地域コーディネーターと補佐 (RRFC, ARRFC)、恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) で力を合わせて進めてまいります。

新しい手続要覧 (2022) では、新たに「ロータリーの戦略計画」が追加されました (P6~7)。その中で、「世界中で持続可能な変化を生むための新たなビジョンの実現に向けて行動する時が来ている。」と述べています。私たちロータリー会員は今行動しなければなりません。Take Action! です。微力ながら、私たち地域リーダー (ロータリーコーディネーター、公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター) が協働してクラブやロータリー会員の行動計画に貢献していければと願っています。また、次年度はローターアクトクラブが積極的にロータリー財団に関わっていけるような活動も考えて参りましょう。

次年度 (2023-24) の日本の目標を次の通りといたします。各クラブへのご周知をよろしくお願いいたします。

■ 年次基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり150ドル</li> <li>・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する</li> <li>・Every Rotarian Every Year (年次基金への寄付) の推進</li> <li>・ポール・ハリス・ソサエティの推進 (各地区+30名目標)</li> </ul>
■ ポリオプラス基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり30ドル</li> <li>(1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)</li> </ul>
■ 恒久基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠名基金を各地区1件以上設立 (個人・クラブ・地区いずれも可)</li> </ul>
■ 大口寄付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件</li> <li>「大口寄付 0地区」ゼロを目指す</li> <li>・AKSを日本全体で10名増やす</li> <li>中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す</li> </ul>
■ DDF の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区期末DDF残高ゼロを目指す</li> <li>・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈 (寄贈いただいた地区は表彰状が贈られます。)</li> <li>・ロータリー平和センターへの寄贈</li> <li>・7つの重点分野への寄贈</li> </ul>
■ 奉仕活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界ポリオデー」に地区やクラブでイベント企画・実施</li> <li>・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進</li> <li>・ロータリー平和フェロシップの推進</li> </ul>

## 【ロータリー財団 世界の目標】

年次基金	1億5,000万ドル
ポリオプラス基金	1億5,000万ドル(ドイツ財団からの上乗せ含む)
恒久基金	1億4,000万ドル*(誓約含む)
その他の基金	6,000万ドル
合計	5億ドル

\*2025年までに20億2,500万ドル

My ROTARY 「[RI 会長エレクトが 2023-24 年度会長テーマを発表](#)  
[2023-24 年度テーマ:ゴードン R. マッキナリーRI 会長エレクトの講演](#)  
[バリー・ラシン財団管理委員長エレクトの講演](#)

## お知らせ

### 【皆さんの質問にゴードン・マッキナリー氏が答えます】

「思いやりを中核的価値観としてロータリーを率いていくつもりです」とRI 会長エレクト

国際ロータリー(RI)会長としての「自身の年度」について質問すると、『私の年度』ではなく、『ロータリー年度』についてですとゴードン・マッキナリー氏はすぐに言い換えました。「私は継続性の大切さを信じており、次年度を切り離しては考えていません」



風の強い10月のある日、『ROTARY』誌のスタッフ6人を迎え入れたマッキナリーさんは、世界中のロータリー会員からSNSを通じて寄せられた質問に答えました。スタッフが撮影の準備をする中、次々におかしなことを言って皆を笑わせるマッキナリーさんのおかげで、すっかり和やかな雰囲気です。

マッキナリーさんの出身は、会長室に入れば一目瞭然。壁にはスコットランドの芸術家ジョン・ロウリー・モリソンによる明るい色の風景画が飾られています。スコットランドはよく陰鬱(いんうつ)な所のように描かれるけれど、そんなにひどくもないんですよ、とマッキナリーさん。「からっと晴れた日もあります」。

記事の続きは[こちら](#)

### 【トランスジェンダーの人びとの声となる】

「あれは人生最悪の年だった」

インド南部の小さな町で育った20代半ばのトランスジェンダー、サンジブさんは、2018年を振り返ってこう語ります。その年、性的ハラスメントから逃れるために走行中の列車から飛び降り、彼のジェンダーアイデンティティについて両親と激しい口論をしたあげくに精神科に連れていかれました。医者からコーヒーに薬を入れられたり、無理やり注射を打たれたりしたサンジブさんは、自殺を図るも未遂に。頭を剃って故郷センゴツタイでの路上生活を捨て、約560Km離れたチェンナイに移住しました。

## リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)  
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)  
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

-----  
 ロータリーの運営、イベント、  
 会員に対する新型コロナウイルス  
 (COVID-19)の影響についての  
 情報は[こちら](#)  
 -----

経営管理の学位をもち、会計士となる研修を受けたにもかかわらず、両親は面接に必要な卒業証書を渡してくれませんでした。このため単純労働の仕事しか見つからず、レストランで長時間、低賃金で皿洗いをしました。「毎日生き延びるのがやっとだった」。サンジブさんはこう漏らします。(この記事の取材を受けたほかの人たちと同じく、サンジブさんもファーストネームしか使っていません。)

その5年後、サンジブさんに転機が訪れました。皿洗いを辞めて料理人として修業した後、テクノロジー関連のコンサルティング会社Wiproに就職。友人から誘われてロータリーに入会し、そこでやっと、居場所となるコミュニティとサポートを見つけられたのです。現在、サンジブさんはマドラス・エリート・ロータリークラブの会長エレクトです。記事の続きは[こちら](#)

## 【壁を打ち壊す】

### 女兒や女性たちが自分の力に気づくための後押し

リベリアの平和活動家であるレイマ・ボウイさんは、2011年、ノルウェーのオスロで、ノーベル賞の講演を前に数人の友人と部屋で待っていました。

彼女は難民キャンプで暮らし、子ども兵(少年兵)のカウンセラーとして非暴力平和運動を率い、14年間続いたリベリアの内戦を終結させるための重要な役割を果たしました。そんな彼女に、人びとは「次は何ををするのですか」と問いかけました。

「私の答えは単純でした。ノーベル平和賞を受賞したばかりのときで、39歳で引退するつもりだったんです。でも皆に『まだ若いのだから考えなさい』と言われ、そのとき自分に考えることができたのは、女兒と教育のことだけでした」記事の続きは[こちら](#)

## 【みんなが安全にプレーできるバリアフリーの野球場】

寄稿者:キース・ブロックさん(ファーゴ・ムーアヘッドAMロータリークラブ会員、米国ミネソタ州第5580地区パストガバナー)

### 入念な立案とパートナーシップで実現したロータリーのプロジェクト

2010年春、ロータリー会員たちから、障がいのある子どもも安全に野球が楽しめるゴム引きのバリアフリー球場「ミラクルフィールド」を作るというアイデアを持ちかけられました。私のクラブを含む近隣5クラブが合同で設立した「ファーゴ・ムーアヘッド・ロータリー財団」(以下「FMR財団」)では、その5年前にも、ロータリー創立100周年記念として、障がいのある子どもと一緒に遊べるインクルーシブな公園をファーゴ市内に作っていました。このため、「ミラクルフィールド」はFMR財団にふさわしいプロジェクトのように思われました。

以前のプロジェクトで市公園局と協力した経験があったので、まずはムーアヘッド市の公園レクリエーション局に連絡してみることにしました。プロジェクトで大切なのは、その結果から恩恵を得るほかの人びとや団体と、早い段階から緊密なパートナーシップを組むことです。公園レクリエーション局では既にニーズを把握しており、バリアフリーのレクリエーション施設を作りたいと考えていましたが、予算の問題で実現できずにいました。このため、私たちがバリアフリー球場の建設を申し出ると、とても喜んでくれました。

記事の続きは[こちら](#)

## 【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

## リソース

### <資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関する  
プレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

### <DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

**例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9**

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

### <感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

## 【ビバ・リヴィウ：戦時下の生活(第2回報告)】

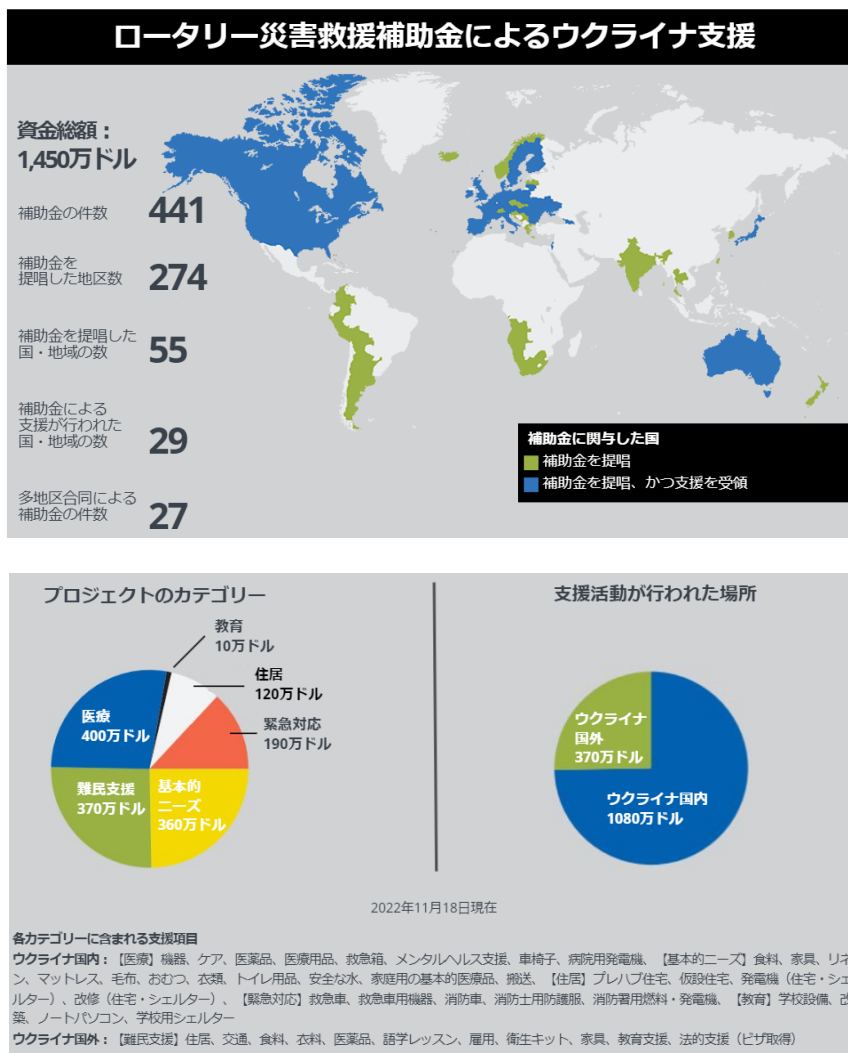
ロシアのウクライナ侵攻から1年が経過し、『Rotary』誌の記者ウェン・ホアンがヨーロッパを訪れ、ウクライナの人びとの困難から立ち上がる力とロータリーの世界的なネットワークの広さを目の当たりにしました。2回にわたるレポートをお届けし、第2回ではポーランドからウクライナに入国します。

### 金曜日、午前10:00、ポーランド南東部にて

「ウクライナの匂いがしてきたよ」と、ワシル・ポロンスキーさんは少年のような満面の笑みを浮かべました。「国境のすぐ近くまでやってきました」

私たちは今、ポーランドの南東部で、舗装されたばかりの田舎道を疾走しています。ポロンスキーさんは窓から顔を出し、深呼吸をしました。私も同じように息を吸い込みますが、「ウクライナの匂い」は感じられません。ポロンスキーさんは私の気持ちを読み取ったのでしょうか。「私たちウクライナ人だけが、この土地の独特の匂いを感じる事ができるんです。海外から帰ってくると、いつもこの匂いを嗅いだけで故郷に帰ってきたのだと感じます。私は自分の国をととても愛しています。この戦争でその気持ちはより強くなりました」

記事の続きは[こちら](#)



## 「戦時下の生活：最前線レポート」(第1回報告)

[ポッドキャスト: The battle for Ukraine's identity](#)

[ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)

## 寄付・認証

### 【年次基金寄付ゼロクラブ】

円安等の影響や不安定な状況が続く中でも、ロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。会員のお一人でも年次基金へご寄付くださったロータリークラブは、年次基金寄付ゼロクラブではなくなります（ローターアクトクラブはカウントに含まれません）。

今年度も年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2023年2月末現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	19	2620	15	2740	17
2510	16	2630	5	2750	9
2520	4	2640	10	2760	2
2530	18	2650	4	2770	10
2540	16	2660	3	2780	7
2550	8	2670	13	2790	5
2560	5	2680	6	2800	2
2570	3	2690	9	2820	4
2580	8	2700	11	2830	8
2590	1	2710	4	2840	8
2600	2	2720	20	合計	313
2610	20	2730	18		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。※ご寄付が各種レポートに反映されるまで、2週間ほどかかります。

《[My ROTARY](#) にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート》

## ポリオプラス

### 【世界予防接種週間 4月24～30日】

認識を高め、ワクチンへの理解を向上させ、命を救おう



私たちのポリオ根絶活動は、命を救うワクチンの力を証明するものです。これまでに30億人の子どもがポリオワクチンを接種し、1988年以降、ポリオの発症は99.9%減少しています。しかし、すべての子どもが予防接種を受け、ポリオを根絶させるまで、この活動を終えることはできません。ワクチンは命を救うというメッセージを広げましょう(#VaccinesWork)。

[世界予防接種週間のツールキットをダウンロード](#)

[End Polio Now ウェブサイト](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2023年 1月1日～ 3月21日	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	1	20	1	84
	アフガニスタン	0	2	4	56
非常 常在国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		1	30	6	140

【ポリオ根絶の枠組みを超えた存在】

パキスタンのポリオ根絶活動では、女性が3分の2を占めています。経済参加と機会におけるジェンダー平等の順位が世界146カ国中145位(世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数による)であるこの国にとって、この女性の割合は驚くべきことです。

女性のワクチン接種員の役割は必要から生まれたものです。文化的規範のため、パキスタンでは人の家に男性が入ることが許されません。医療ケアを提供する女性は、重要な役割を担っているのです。彼女らは母親同士のつながりを築き、ポリオだけでなくほかの健康問題についても信頼できるアドバイスを提供できます。

昨年、パキスタンのポリオ根絶活動家たちと面会したジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長は、「最前線における女性たちの協力が、目標を達成するための力となる」と話します。現在、野生型ポリオウイルスによる発症が起きている国は、パキスタンとアフガニスタンの二カ国のみとなっています。

記事の続きは[こちら](#)



女性保健員は、男性の保健員が入れないような家にも入ることができます。  
(写真提供: Khaula Jamil, Sana Ullah)

ロータリー平和センター



2023年1月管理委員会は、トルコのイスタンブールにあるバチェシェヒシュ大学(Bahçeşehir University)を、次のロータリー平和センターのホストパートナーに選出しました。2024年2月に最初の申請を開始し、2025年1月までに第一期生を受け入れる予定です。管理委員会の決定は[こちら](#)

【ロータリー平和フェローシップの申請と推薦】

2月から2024年ロータリー平和フェローシップの申請を受付中です。地区に候補者からのメールや相談送られてきた場合は、5月15日までにオンラインで申請書を提出するようにご案内ください。クラブによる推薦を任意で行うこともできます。3月9日に地区ロータリー平和フェローシップ委員長に送られた英文のメールもご参照ください。

推薦にかかわることを希望する、地区ロータリー平和フェローシップ委員長やロータリー会員は、ラーニングセンターの「[Get Ready District Rotary Peace Fellowship Subcommittee course](#)」を受講し、手続きや日程についてご確認ください。

面接と承認のために、資格要件を満たす申請書が割り当てられるのは、ラーニングコースの受講を完了した該当の地区の会員のみです。

## <ロータリー平和フェローシップの情報>

- [プログラムの詳細](#)
- [候補者への申請手続きに関する情報](#) (このページに[申請開始](#)ボタンもあります)
- [ロータリー会員の役割](#)
- [ロータリー平和フェローシッププログラムのプレゼンテーション \(PPT\)](#)
- [ロータリー平和フェローシップ申請に関するお知らせ \(PDF\)](#)
- [ラーニングセンター](#) 「ロータリー平和フェローシップのすべて」ほか (ラーニングセンターのコースが開けない場合は[コース一覧](#)を参考に検索してください。)

## 補助金

### 【「プロジェクトの効果を高める」のウェビナーシリーズ】

この度、地域社会に持続可能なインパクトをもたらす効果的なプロジェクトの実施に役立つ、全会員向けの5回にわたるウェビナーシリーズが実施されることとなりました。これらのウェビナーでは、青少年奉仕プロジェクトを含むプロジェクトの計画、リソースの見つけ方、実施、評価に役立つツールと戦略を紹介いたします。(第1回目は3月に終了済み。)

以下が各主題となっておりますので、ぜひご登録ください。

- [プロジェクトの計画:結果を出すためにデザインする](#) 4月6日(木) 午前10時(シカゴ時間) 日本時間:4月7日午前0時)
- [プロジェクトのパートナー/リソース探し:効果的なチームを築く](#) 4月20日(木) 午前10時(シカゴ時間) (日本時間:4月21日午前0時)
- [成果の測定:インパクトを示す](#) 5月4日(木) 午後6時(シカゴ時間) (日本時間:5月5日午前8時)
- [参加者の基盤拡大:青少年と協力して奉仕する](#) 5月18日(木) 午後6時(シカゴ時間) (日本時間:5月19日午前8時)

詳細は[こちら](#)

My ROTARY 「[Webinars](#)」

### 【成果の測定:持続可能な変化をもたらすために】

ロータリーは長い間、「測定」とは、実施するプロジェクトにかかる資金や時間、またはプロジェクトやプログラムを通じて研修を受ける人たちの数を基準にするものと捉えてきました。これらの情報を収集することは有益ですが、成果の測定に対するロータリーのアプローチは変化しています。

確かに、地域社会のニーズに対応するために持ち寄られた資金、時間、その他のリソースについて測定することは引き続き重要な要素です。しかし、私たちの目標は、それよりも大きなものです。ロータリー会員は、地元や海外の地域社会で人びとの生活をより良くしていくことに尽力しています。そのための活動を続け、会員が一人ひとり、またロータリー全体として成長していくには、さまざまな活動の成果によってもたらされる好ましい変化の測定により一層注力する必要があります。記事の続きは[こちら](#)

## <補助金>

### ロータリーの補助金

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問](#)

## <重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

## <プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

## <オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

## <奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

## <補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[補助金管理セミナー指導者用引き](#)

[地区の参加資格認定に関するよくある質問\(FAQ\)](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)



## 【プロジェクトの掲載】

奉仕プロジェクトの情報を[ロータリーショーケース](#)に掲載して共有したり、掲載されている情報からプロジェクトのヒントやパートナーを見つけることもできます。

補助金を利用しているかどうかや活動の種類にかかわらず、地域や国際的なプロジェクトの成果を掲載することができます。ロータリーショーケースでは、プロジェクトの報告のほか、計画中のプロジェクトを掲載してパートナーを募ることもできます。

注意：ロータリークラブセントラルにもプロジェクトを掲載するページがございますが、現在こちらにエラーが起きているため、プロジェクト情報の掲載は、ロータリーショーケースよりお願いいたします。

## 【グローバル補助金 - よくあるご相談】

補助金センターが開けないというご相談のほとんどが、My ROTARY の重複アカウント登録によるものです。申請書や報告書の作成・編集・承認をするには、ロータリー会員として[補助金センター](#)を開く必要があります。会員情報に登録されていないメールアドレスで My ROTARY アカウントを作成すると、会員ではない重複アカウントが作成されてしまい、該当ページをひらくことができません。

My ROTARY アカウントをご自身で削除したり、使用中のアドレスを会員の連絡先に後から追加することはできないため順番が重要です。ご本人が My ROTARY の登録開始をする前によくご確認いただきますようお願いいたします。

1. クラブ役員/事務局にて、会員の連絡先情報に主要な E メールアドレスを登録する。登録方法は[こちら](#)
2. 1で登録済みのメールアドレスで My ROTARY アカウントを作成する。作成方法は[こちら](#)

補助金センターのお手続きについては下記ガイドをご参照ください。

- [補助金センターのご利用ガイド](#) (PDF)
- [補助金センターのご利用ガイド:グローバル補助金奨学生](#)

## 【資料の更新】

[グローバル補助金のページ](#)に掲載されている、協力団体との覚書が更新されました。

作成中の申請書に協力団体がある場合は、こちらの覚書を申請書に添付するようお願いいたします。

[協力団体の覚書](#) (日本語) [Cooperating Organization Memorandum of Understanding](#) (英語)

## 【2023-24年度 地区補助金申請書】

次年度地区補助金の申請書は、2023-24年度ガバナー、地区財団委員長(DRFC)、地区補助金委員長が編集・提出することができます。2022-23年度の地区補助金報告書を提出していなくても、先に申請書を提出することも可能です。

### <参考>

My ROTARY 「[地区補助金](#)」

「[補助金センターのご利用ガイド\(pdf\)](#)」

「[ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件](#)」

### <入力のヒント>



#### > 使用計画タブ:

活動を追加する際に、「簡単な説明」欄には、**そのプロジェクトの内容と、地区補助金資金をどのような経費に使うか、簡単な説明**をご入力ください。地区補助金資金を使わない経費項目については、申請書に入力しないようお願いします。

#### > 銀行情報タブ:

口座名は、カタカナまたはローマ字でご入力ください。また、「支店ID」欄には、銀行コードと支店番号(つづけて入力して7桁)をご入力ください。

#### > 補足文書タブ:

通帳の表紙と、表紙裏ページ(口座名が記載されているページ)を、「補足文書」タブにアップロードしてください。

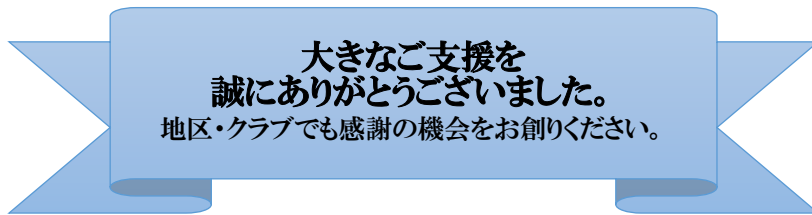


#### > 複数人同時に申請書を開いて編集することはできません。

最初に開いた方のみ編集ができます。最初に開いた方が申請書を閉じるまで、他の方は編集できません。

> 申請書画面を閉じる際は、画面下部の「保存して閉じる」または「閉じる」から画面を閉じてください。インターネット画面をそのまま閉じてしまったり、ブラウザバック(前ページに戻る)のボタンから戻ってしまうと、正常に閉じられないことがあります。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2023年2月21日～3月17日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2780	平塚湘南	関口 直美	2690	岡山西	菊池 捷男
2500	富良野	松田 英郎	2650	武生府中	大塚 紀夫
2690	岡山	末長 範彦	計6名(匿名1名含む)		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

**認証品の発送の遅延**

システムエラーの影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送に通常よりお時間をいただいております。ご迷惑をおかけしており大変申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)  
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)  
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンター](#)の「公共イメージ」のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)  
[クラブでSNSを活用するヒント](#)

今後の予定

5月27日 ～31日	<a href="#">ロータリー国際大会</a> (オーストラリア・メルボルン)
---------------	--

国際ロータリー日本事務局財団室  
 〒108-0073  
 東京都港区三田 1-4-28  
 三田国際ビル 24 階  
 Email: [RJPNTRF@rotary.org](mailto:RJPNTRF@rotary.org)  
 Tel: 03-5439-5805  
 Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2022-23年度 2月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,173	75.74	164,584.75	20,936.98	582.34	3,296.15	189,400.22	56%
2510	2,336	99.82	233,180.19	27,465.82	38,861.67		299,507.68	104%
2520	2,044	67.19	137,338.31	27,539.52	352.45	76.92	165,307.20	93%
2530	2,165	58.52	126,692.33	32,184.41	10,007.51	305.77	169,190.02	75%
2540	1,100	34.97	38,470.17	4,523.60			42,993.77	62%
2550	1,635	120.40	196,861.30	18,830.71	11,370.68	4,407.70	231,470.39	85%
2560	1,963	93.79	184,100.02	31,971.54	2,195.65	5,326.92	223,594.13	95%
2570	1,556	100.29	156,053.75	48,256.44	43,873.33		248,183.52	95%
2580	2,833	118.50	335,702.23	128,830.83	69,744.18	1,423.08	535,700.32	83%
2590	1,854	141.61	262,551.23	40,534.31	31,207.84	230.77	334,524.15	99%
2600	1,838	96.20	176,817.14	44,011.43	7,469.42	307.69	228,605.68	92%
2610	2,466	77.92	192,140.85	31,992.56	1,000.00	152.68	225,286.09	113%
2620	2,756	109.62	302,123.53	72,900.71	17,100.00	2,050.00	394,174.24	104%
2630	2,990	113.82	340,308.84	43,601.60	70,685.86	7,875.00	462,471.30	103%
2640	1,576	93.34	147,102.60	34,673.98	2,249.53	3,150.00	187,176.11	98%
2650	4,242	133.93	568,145.57	93,266.50	33,136.09	76.92	694,625.08	92%
2660	3,404	173.34	590,061.79	233,309.37	141,648.04	40,720.05	1,005,739.25	128%
2670	2,861	67.66	193,587.75	37,322.16	10,000.00	76.92	240,986.83	80%
2680	2,522	93.24	235,149.46	57,853.23	26,812.45	6,644.48	326,459.62	88%
2690	2,879	112.12	322,789.11	78,145.08	40,800.00	38.46	441,772.65	103%
2700	3,030	62.72	190,033.58	26,801.00		1,050.00	217,884.58	90%
2710	3,066	118.86	364,411.81	62,061.91	56,650.00	1,050.00	484,173.72	94%
2720	2,310	93.19	215,259.55	42,095.29	23,085.97	1,000.00	281,440.81	139%
2730	2,289	41.84	95,763.83	17,813.72	3,340.00	384.62	117,302.17	102%
2740	2,061	45.45	93,671.64	17,749.56	3,153.84	3,038.46	117,613.50	51%
2750	4,480	147.69	661,661.43	189,558.97	104,424.25	7,594.23	963,238.88	90%
2760	4,545	128.79	585,356.18	130,866.42	41,387.56	5,458.80	763,068.96	88%
2770	2,309	159.19	367,575.95	86,063.14	38,522.93	2,100.02	494,262.04	100%
2780	2,228	149.08	332,159.51	67,621.28	25,174.34		424,955.13	112%
2790	2,623	113.49	297,672.21	52,980.21	39,619.25	3,537.88	393,809.55	94%
2800	1,492	73.38	109,484.90	11,088.19	12,218.98	1,538.50	134,330.57	60%
2820	1,813	154.53	280,158.33	58,667.92	30,014.49	2,100.00	370,940.74	113%
2830	1,095	74.72	81,820.39	15,957.21	3,463.20		101,240.80	92%
2840	2,021	102.51	207,169.84	42,461.25	14,938.50	76.92	264,646.51	96%
日本	82,555	106.43	8,785,960.07	1,929,936.85	955,090.35	105,088.94	11,776,076.21	95%
世界	1,166,331	70.48	82,204,423.61	24,170,061.10	23,234,284.82	14,074,124.04	143,682,893.57	
日本の割合	7.08%	-	10.69%	7.98%	4.11%	0.75%	8.20%	